

FCT 第14回メディア・リテラシー研修セミナー報告

「東日本大震災とメディア・リテラシー」

2011年8月6日（土）～8月7日（日）の日程で、県立かながわ女性センター会議室において、恒例の研修セミナーを開催しました。

参加者は、首都圏を中心に、秋田県、福島県、大阪府、京都府、愛知県などから集まり、所属は小学校・高校・大学教員、大学生・大学院生、NPO 関係者、行政担当者、市民活動家、メディア制作者などです。このように多様な参加者によるセミナーは、今後、各地域での学校教育、および生涯学習の場、または職場において、メディア・リテラシーの実践に即、繋がる事業であると確信しています。

今回のセミナーでは、3月11日に東北・関東地方を襲った東日本大震災のテレビ報道をテーマに、メディア分析をおこないました。ワークショップを各セッションに取り入れ、参加と対話によりメディア・リテラシーの獲得を目指しています。さらに、7日午後には、オープン・フォーラム「東日本大震災とメディア・リテラシー」を開催し、ゲスト・スピーカーの問題提起、FCTによる分析中間報告、参加者の意見交換などをおこないました。

セミナーでは、セッション1でメディア・リテラシーとは何かを、『新版 Study Guide メディア・リテラシー入門編』をベースにして学び、その実践編として、2009/2010 G MMP (Global Media Monitoring Project) 報告をおこなっています。G MMPとは国連第4回世界女性会議を機にスタートし、5年ごとに実施するニュース番組のモニター活動で、今回は108カ国の市民が参加しています。そのデータによれば、女性はニュースに登場する人物の24%に過ぎず、女性の過少評価が、世界的規模でみられることが数字で示されています。

セッション2「テレビCMと私たち」は、メディア分析の基本となる映像言語をCMを通して学ぶもので、震災後頻りに放送されたAC広告の中から、高校生の登場する「思いやりの気持ち編」と、プロ選手による「サッカー編」をテキストにしてワークショップをおこないました。合せて、メディアの産業的側面を学ぶ意味で、「AC広告とはなにか」、「東京電力とマスメディア」の説明をしています。

セッション3「メディアは『現実』を構成する」は、震災から3ヵ月後の6月11日NHKの『ニュース7』より今日一日を伝えるドキュメントを選び、分析しています。ワークショップの参加者からは、「6月11日を、被災者の個人的体験に特化して選択し、心の持ち用を語っている」「被災者に寄り添うように、祈りのシーンが多く登場し、ドラマ仕立てになっている」などの発言がありました。また、3ヶ月目のニュースとして取り上げられていない情報として、「原発事故による被曝の問題」「ライフラインの復旧など公的な動き」が取り上げられていないとの指摘がありました。

セッション4「メディアの伝える価値観・考え方」では、3月14日のTBS『ニュース23クロス特別番組』より、二本松市のスクリーニングに訪れた市民にインタビューをするトピックをテキストにしています。子どもの被曝を心配する若い母親と、現地の取材記者、スタジオのキャスターや専門家など、登場人物を中心に価値観を分析してい

ます。

セッション5はオープン・フォーラムですが、ここでは、フォーラムの「第3部メディア・リテラシーの日常化とは～会場との対話」より、発言の一部を紹介します。

ゲスト・スピーカーの女性「このフォーラムを通して、新聞記者として、何が報道できたのか、また、報道できなかったのかを、一緒に考える機会にしたいと思っています。久しぶりにワークショップに参加をして、今後は社内研修にも、メディア・リテラシー・ワークショップを取り入れるのも一案ではないかと感じました」

大阪から参加の男性「2日間の研修セミナーに参加をした小学校の教師です。生徒が、教師の意図を汲み取るのではなく、自分はどう思うのかを日頃から考える力をつけるために、メディア・リテラシーの分析の手法を、教育現場でも活用できるのではないかと気づきました」

福島から参加の男性「このフォーラムでは、メディアと原発をテーマに取り上げているので、大学における研究の展開のために、メディア・リテラシーの手法を学びに来ました。今後も、情報交換を続けていきたいと思います」

今回の研修セミナーは「東日本大震災とメディア・リテラシー」というテーマにそって組み立ててありますが、セミナーおよびフォーラム参加者をふくめ、ファシリテーターにとっても、公共の電波を使用するテレビ・メディアを、オーディアンスの立場からどう捉えるかをあらためて考える貴重な機会になったと考えています。

ファシリテーター：西村寿子・田島知之・登丸あすか・森本洋介・新開清子（記録）